**平成23年第2回七戸町議会定例会
会議録（第3号）**

平成23年6月10日（金） 午前10時00分 開議

○議事日程

日程第 1	議案第42号	七戸都市計画事業七戸町新駅周辺土地区画整理事業により整備した公園の設置及び管理に関する条例の制定について
日程第 2	議案第43号	七戸町下水道条例の一部を改正する条例について
日程第 3	議案第44号	七戸町農業集落排水処理施設条例の一部を改正する条例について
日程第 4	議案第45号	七戸町立七戸幼稚園保育料徴収条例の一部を改正する条例について
日程第 5	議案第46号	七戸町税条例の一部を改正する条例について
日程第 6	議案第34号	平成23年度青森県上北郡七戸町一般会計補正予算（第2号）
日程第 7	議案第35号	平成23年度七戸町国民健康保険特別会計補正予算（第1号）
日程第 8	議案第36号	平成23年度七戸町後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）
日程第 9	議案第37号	平成23年度七戸町介護保険特別会計補正予算（第1号）
日程第10	議案第38号	平成23年度七戸町介護サービス事業特別会計補正予算（第1号）
日程第11	議案第39号	平成23年度七戸町公共下水道事業特別会計補正予算（第1号）
日程第12	議案第40号	平成23年度七戸町農業集落排水事業特別会計補正予算（第1号）
日程第13	議案第41号	平成23年度七戸町水道事業会計補正予算（第1号）
日程第14	諮問第 1号	人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて
日程第15	諮問第 2号	人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて
日程第16	報告第15号	平成22年度青森県上北郡七戸町一般会計繰越明許費繰越計算書の報告について
日程第17	報告第16号	平成22年度青森県上北郡七戸町一般会計事故繰越し繰越計算書の報告について
日程第18	報告第17号	平成22年度青森県上北郡七戸町一般会計事故繰越し繰越計算書の報告について

- 日程第 19 報告第 18 号 平成 22 年度七戸町水道事業会計予算繰越計算書の報告について
- 日程第 20 議員派遣の件
-

○本日の会議に付した事件

- 日程第 1 議案第 42 号 七戸都市計画事業七戸町新駅周辺土地区画整理事業により整備した公園の設置及び管理に関する条例の制定について
- 日程第 2 議案第 43 号 七戸町下水道条例の一部を改正する条例について
- 日程第 3 議案第 44 号 七戸町農業集落排水処理施設条例の一部を改正する条例について
- 日程第 4 議案第 45 号 七戸町立七戸幼稚園保育料徴収条例の一部を改正する条例について
- 日程第 5 議案第 46 号 七戸町税条例の一部を改正する条例について
- 日程第 6 議案第 34 号 平成 23 年度青森県上北郡七戸町一般会計補正予算（第 2 号）
- 日程第 7 議案第 35 号 平成 23 年度七戸町国民健康保険特別会計補正予算（第 1 号）
- 日程第 8 議案第 36 号 平成 23 年度七戸町後期高齢者医療特別会計補正予算（第 1 号）
- 日程第 9 議案第 37 号 平成 23 年度七戸町介護保険特別会計補正予算（第 1 号）
- 日程第 10 議案第 38 号 平成 23 年度七戸町介護サービス事業特別会計補正予算（第 1 号）
- 日程第 11 議案第 39 号 平成 23 年度七戸町公共下水道事業特別会計補正予算（第 1 号）
- 日程第 12 議案第 40 号 平成 23 年度七戸町農業集落排水事業特別会計補正予算（第 1 号）
- 日程第 13 議案第 41 号 平成 23 年度七戸町水道事業会計補正予算（第 1 号）
- 日程第 14 諮問第 1 号 人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて
- 日程第 15 諮問第 2 号 人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて
- 日程第 16 報告第 15 号 平成 22 年度青森県上北郡七戸町一般会計繰越明許費繰越計算書の報告について
- 日程第 17 報告第 16 号 平成 22 年度青森県上北郡七戸町一般会計事故繰越し繰越計算書の報告について
- 日程第 18 報告第 17 号 平成 22 年度青森県上北郡七戸町一般会計事故繰越し繰越計算書の報告について
- 日程第 19 報告第 18 号 平成 22 年度七戸町水道事業会計予算繰越計算書の報告に

ついて

日程第20

議員派遣の件

○出席議員（16名）

議長	16番	白石洋君	副議長	15番	天間清太郎君
	1番	听清悦君		2番	岡村茂雄君
	3番	附田俊仁君		4番	佐々木寿夫君
	5番	瀬川左一君		6番	盛田恵津子君
	7番	田嶋弘一君		8番	田嶋輝雄君
	9番	三上正二君		10番	松本祐一君
	11番	二ツ森圭吉君		12番	工藤耕一君
	13番	田島政義君		14番	中村正彦君

○欠席議員（0名）

○説明のため会議に出席した者の職氏名

町長	小又勉君	副町長	大平均君
総務課長	似鳥和彦君	支所長 (兼支所庶務課長)	米内山敬司君
企画財政課長	天間勤君	税務課長	花松了覚君
町民課長	澤田康曜君	社会生活課長	森田耕一君
健康福祉課長	田中順一君	会計課長	楠章君
農林課長	神山俊男君	新幹線建設対策課長	天間一二君
建設課長	米田春彦君	商工観光課長	瀬川勇一君
上下水道課長	鳥谷部宏君	城南児童館長	向中野良一君
教育委員会委員長	中村公一君	教育長	倉本貢君
学務課長	附田繁志君	生涯学習課長	渡部喜代志君
スポーツ振興課長	小原信明君	中央公民館長	二ツ森政人君
南公民館長 (兼中央図書館長)	山谷栄作君	農業委員会会長	佐藤午之助君
農業委員会事務局長	木村正光君	代表監査委員	野田幸子君
監査委員事務局長	佐野尚君	選挙管理委員会委員長	松下喜一君
選挙管理委員会事務局長	澤田康曜君		

○職務のため会議に出席した事務局職員

事務局長	佐野尚君	事務局次長	築田政光君
------	------	-------	-------

○会議を傍聴した者（3名）

○会議の経過

○開議宣告

○議長（白石 洋君） 皆さん、おはようございます。

ただいまの出席議員は16名で、定足数に達しております。

したがって、平成23年第2回七戸町議会定例会は成立をいたしました。

議長において作成いたしました議事日程は、お手元に配付いたしましたとおりであります。

これより、6月9日の会議に引き続き、本日の会議を開きます。

議案審議に入ります前に、6月9日の一般質問において、田嶋弘一議員質問の過疎地域指定要件について、企画財政課長より答弁をいたさせます。

企画財政課長。

○企画財政課長（天間 勤君） 田嶋弘一議員、きのうは大変申しわけありませんでした、気がつきませんで。

それで、過疎地域の指定要件について御説明申し上げます。

旧天間林村については、昭和45年から過疎地域に指定されております。これもきのう、田嶋弘一議員が言ったとおり、上北鉦山の、その地域に働く方々及び家族の方が鉦山の閉山によっていなくなったということになります。

それで、通常の場合の過疎地域の指定要件について述べさせていただきます。

人口要件として、35年間、昭和40年から平成12年、人口減少率が30%以上。35年間人口減少率25%以上プラス平成12年高齢者率、65歳以上24%以上。35年間人口減少率25%以上プラス平成12年青年層率、15歳から30歳未満15%以下。25年間、昭和50年から平成12年、人口減少率が19%以上。それで、財政力要件として、平成10年から12年度の財政力指数が平均0.42以下でございます。

それで、合併市町村の特例のことについて申し上げます。

人口要件が、平成12年人口が昭和40年人口及び昭和50年人口のいずれよりも減少。それと、財政力要件として、合併直近3カ年度の財政力指数、平均0.42以下。それから、住民福祉要件として、交通通信、生活環境、高齢者保健、福祉、医療、教育、文化等の施設の整備が不十分なため、住民福祉の向上が阻害されているというような条件になっております。

以上でございます。

○議長（白石 洋君） 田嶋議員、それでよろしいですか。

田嶋議員。

○7番（田嶋弘一君） きんのうの続きになるのですけれども、そういうことで過疎指定を受けたということが、私も調べた結果、そのようになっていました。

私がきのう言いたかったのは、例えば、今、被災を受けて、やむを得ず青森県に来る人。いろいろなところに行っただと思います。恐らくそういう地域もまた、過疎指定なりい

ろいろな形を受けると思うのですけれども、それから20年、30年たてば、やっぱりふるさとを思うということで、私は何か感じると思います。我が町でもそういう意味で、できればそういう方々を一度保護していただきたいという形の意味で、できればそういう、もう少し役場としても、劇場がありますから、そういう方々を招いてみてはいかがかという話でした。

というのは、やはりそういうふうな形で我が町が恩恵を受けたということであれば、やはりその人たちをやって、我が町はこういうふうになりましたという形で、できれば鉱山をちょっと、何百万円かけるというわけではなくて、ちょっと芝を刈って、昔ここに映画館があった、何があったということをやって、観光に向けて、ひとつその人たちにアピールしてもらったらいかがかなという話をしました。それを、できれば具体的に、今言えるのであれば、また、早目にそれを盛り込んでいただくのであればしてほしいなということで答弁をいただきましたけれども、ちょっと認識不足、私のほうからも質問がちょっと足りなかったと思うのですけれども、そういう意味で質問させていただきました。

そういうことで、できれば再度、観光課なりに具体的に答弁いただければなというふうに思っています。

よろしく申し上げます。

○議長（白石 洋君） 田嶋議員に、ただいまのお話がございますけれども、このことにつきましては大方、昨日、町長が答弁しておりますので、ひとつそういうことで御理解をさせていただきたいなと、こう思いますが、いかがですか。

○日程第1 議案第42号

○議長（白石 洋君） それでは、これより審議に入ります。

日程第1 議案第42号、七戸都市計画事業七戸町新駅周辺土地区画整理事業により整備した公園の設置及び管理に関する条例の制定についてを議題といたします。

これより、質疑に入ります。

発言を許します。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○議長（白石 洋君） 質疑がありませんので、これをもって質疑を終結いたします。

これより、討論を行います。

討論はありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○議長（白石 洋君） 討論がありませんので、これをもって討論を終結します。

これより、本案について採決します。

本案は、原案のとおり決することに御異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

○議長（白石 洋君） 御異議なしと認めます。

したがいまして、議案第42号、七戸都市計画事業七戸町新駅周辺土地区画整理事業により整備した公園の設置及び管理に関する条例の制定については、原案のとおり可決されました。

○日程第2 議案第43号

○議長（白石 洋君） 日程第2 議案第43号、七戸町下水道条例の一部を改正する条例についてを議題といたします。

これより、質疑に入ります。

発言を許します。ありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○議長（白石 洋君） 質疑がありませんので、これをもって質疑を終結します。

これより、討論を行います。

討論はありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○議長（白石 洋君） 討論がありませんので、これをもって討論を終結します。

これより、本案について採決します。

本案は、原案のとおり決することに御異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

○議長（白石 洋君） 御異議なしと認めます。

したがいまして、議案第43号、七戸町下水道条例の一部を改正する条例については原案のとおり可決されました。

○日程第3 議案第44号

○議長（白石 洋君） 日程第3 議案第44号、七戸町農業集落排水処理施設条例の一部を改正する条例についてを議題といたします。

これより、質疑に入ります。

発言を許します。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○議長（白石 洋君） 質疑がありませんので、これをもって質疑を終結します。

これより、討論を行います。

討論はありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○議長（白石 洋君） 討論がありませんので、これをもって討論を終結します。

これより、本案について採決します。

本案は、原案のとおり決することに御異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

○議長（白石 洋君） 御異議なしと認めます。

したがいまして、議案第44号、七戸町農業集落排水処理施設条例の一部を改正する条例については原案のとおり可決されました。

○日程第4 議案第45号

○議長（白石 洋君） 日程第4 議案第45号、七戸町立七戸幼稚園保育料徴収条例の一部を改正する条例についてを議題といたします。

これより、質疑に入ります。

発言を許します。

4番。

○4番（佐々木寿夫君） これで1,000円ぐらい高くなるのですが、大体年間で、幼稚園全体でどれぐらいの収入がふえることになりますか。大体でいいです。

○議長（白石 洋君） 学務課長。

○学務課長（附田繁志君） お答えいたします。

この減免の区分につきましては、当町の場合は対象者がございませんので、影響がございません。そのままです。

○議長（白石 洋君） ほかにありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○議長（白石 洋君） 質疑がありませんので、これをもって質疑を終結します。

これより、討論を行います。

討論はありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○議長（白石 洋君） 討論がありませんので、これをもって討論を終結します。

これより、本案について採決します。

本案は、原案のとおり決することに御異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

○議長（白石 洋君） 御異議なしと認めます。

したがいまして、議案第45号、七戸町立七戸幼稚園保育料徴収条例の一部を改正する条例については原案のとおり可決されました。

○日程第5 議案第46号

○議長（白石 洋君） 日程第5 議案第46号、七戸町税条例の一部を改正する条例についてを議題といたします。

これより、質疑に入ります。

発言を許します。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○議長（白石 洋君） 質疑がありませんので、これをもって質疑を終結します。
これより、討論を行います。
討論はありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○議長（白石 洋君） 討論がありませんので、これをもって討論を終結します。
これより、本案について採決します。
本案は、原案のとおり決することに御異議ありませんか。
（「異議なし」と呼ぶ者あり）

○議長（白石 洋君） 御異議なしと認めます。
したがいまして、議案第46号、七戸町税条例の一部を改正する条例については原案のとおり可決されました。

○日程第6 議案第34号

○議長（白石 洋君） 日程第6 議案第34号、平成23年度青森県上北郡七戸町一般会計補正予算（第2号）を議題といたします。

これより、質疑に入ります。
質疑は、事項別明細書により、歳入から行います。
7ページから8ページまでの歳入全般にわたり発言を許します。
4番。

○4番（佐々木寿夫君） 7ページ、固定資産税についてですが、1億9,000万円ほど補正されて収入がふえているのですが、固定資産税の収入がふえると、国からの交付金が減ると思うのですよね。これは多分、基準財政需要額か何かの関係でそうなると思うのですが、大体、国からの、いわゆる交付金の影響というのはどれぐらいかというのが第1点。

それから、この1億9,000万円をJRが払った場合に、JRに対して早くお金を払うと、お金が出ますね。そのお金の金額も教えていただきたいと思います。

○議長（白石 洋君） 企画財政課長。

○企画財政課長（天間 勤君） では、私のほうから第1点目の件についてお答えしたいと思います。

交付税の決定は7月下旬になろうかと思えますけれども、うちのほうの企画財政課のほうで、固定資産税が1億9,000万円ふえたことによって、どのぐらい交付税が少なくなるのかということなのですけれども、1億3,800万円ぐらい少なくなるのではないかなど。あくまでもこれは概算でございますけれども。

○議長（白石 洋君） 税務課長。

○税務課長（花松了覚君） 固定資産税の、恐らく前納報奨金のことかと思いますが、652万2,000円ほどを見込んでおります。

以上です。

○議長（白石 洋君） 4番。

○4番（佐々木寿夫君） 1億9,000万円の固定資産税がふえたと思って喜んでいたら、1億3,800万円の交付金が減ってくるということになると、これは単純に計算すると5,200万円しかふえないということですね。それで、それに前納報奨金655万円ですから四千何百万円しかふえないということになるから、新幹線の関係から入る交付金というのは意外に少ないということで、驚いて今いるところです。一層、財政の運営については注意していかなければならないと思っています。

以上です。

○議長（白石 洋君） 答弁はよろしいですね。はい、わかりました。

ほかにありませんか。

13番。

○13番（田島政義君） 農道区画整理で聞いてもよかったのですが、今、税務課のほうで言うように、区画整理事業をしましたと。そうすると、今は宅地並み課税になるはずですね、農地が、駅前周辺が。そうすると、区画整理する前の税収と宅地並みにしたときの税収で、どのぐらい逆に伸びるか。

○議長（白石 洋君） 税務課長。

○税務課長（花松了覚君） お答えします。

今、資料を確認しますので、しばらくお待ちください。

○議長（白石 洋君） ほかにありませんか。

10番。

○10番（松本祐一君） 固定資産税の部分に関連するわけですが、これからイオンも出店になるわけですね。きょうも私、前も通ってきたのですが、鉄骨があって、もう間もなくかなという、そういう感じであります。

そういうわけで、これからイオンにも固定資産税がかかってくるわけですが、その前に、先般、新聞報道だと津波で鉄骨が塩をかぶったところでおくれるのだということで説明が載っておりました。また、職員の募集等もチラシに載っておりました。だからそういう、新聞報道に載る前に、でき得れば、私、議会軽視とまで言いませんけれども、できるだけ本部のほうから来ていただいて、議会で説明してほしいなど、そのように思うのですが、町当局はどのようにお考えでしょうか。

○議長（白石 洋君） 町長。

○町長（小又 勉君） おっしゃるとおりだと思います。

なかなか情報がすぐ来ないものですから、というのは、イオン自体も結構混乱していたみたいです。こちらから何回かの問い合わせでそういう回答ということで、当初は7月の七夕のころの開店ということで、震災前はです。そのつもりでいましたら、その後、連絡がないものですから大丈夫かなと思っていたら、おけると。確かにお待ちしております。

れども。

今後については、特に、これから一番気になるのは、いつ開店になるのかということで、早目に情報をとって、いわゆるその辺の、その店の内容だとかを含めて、来て説明を求めたいというふうに思っていますので、よろしくお願いします。

○議長（白石 洋君） 10番。

○10番（松本祐一君） よくわかりました。

でき得るならば、やっぱり新聞報道をする前に、議会に来て説明していただければ我々議員も助かると思うのですよ。一般の人が知ってから我々に聞いても、いや、ちょっとわかりませんでは、これもまた議員としての立場がないような気がしておりますので、まず、でき得るならば新聞報道の前にイオンの責任者が来て説明していただければなと思いますので、その点、町長よろしくお願いします。

○議長（白石 洋君） ほかにありませんか。

税務課長。

○税務課長（花松了覚君） 先ほどの質問にお答えしたいと思います。

土地区画整理事業の関係の固定資産税ですが、550万円ほどふえる見込みです。

以上です。

○議長（白石 洋君） よろしいですか。

ほかにありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○議長（白石 洋君） ないようですので、次に、歳出に入ります。

9ページ、1款1項1目議会費から14ページ、2款5項2目指定統計費まで発言を許します。

7番。

○7番（田嶋弘一君） ちょっと関連でお聞きしたいと思いますけれども、住民課長のほうに。

この間の選挙の話なのですけれども、私は四ヶ村地区なのですけれども、私の四ヶ村地区の話ではないのですけれども、他の地区のほうの方から私のところに電話が入りまして、ちょっと職員の対応が悪いという話を聞きました。というのも、朝7時ということで、目覚めがちょっと皆さん悪いかと思うのですけれども、やはり町民の役に立つ人たちですから、できれば笑顔で迎えてあげる方法なり、そういう形がちょっと欠けていたのかなど。私の地区ではありませんよ。ほかの地区からそういう話がありましたので、今後、やはり朝早いときの対応の仕方をもう少し考えていただければなということで、お願いですけれども、よろしくその辺のことを検討していただきたいなと思います。

○議長（白石 洋君） 7番議員、答弁はよろしいですか。

○7番（田嶋弘一君） はい。私のほうからそういう話があったから、もし対応がちゃんとしているのであれば、そういう苦情でもあったら、今後どのような方向づけ

で直していくのかお聞きいたします。

○議長（白石 洋君） 町民課長。

○町民課長（澤田康曜君） お答えします。

今の件に関しましては、事務方には連絡が入っておりませんが、何かの選挙におきましては、事務従事者、投票、開票の職員に関しましては、投票事務に関するものことは説明をしております。

今おっしゃったことに関しましては、またそういう機会があれば、投票事務の職員等にも周知徹底して対応していくように善処していきたいと思っております。

以上です。

○議長（白石 洋君） ほかにありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○議長（白石 洋君） 次に、14ページ、3款1項1目社会福祉総務費から17ページ、4款1項5目健康増進費まで発言を許します。

ありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○議長（白石 洋君） ないようですので、次に、17ページ、6款1項1目農業委員会費から20ページ、9款1項2目非常備消防費まで発言を許します。

なお、質問のある方は、ページ数と目のあたりをお願いいたします。

9番。

○9番（三上正二君） 19ページ、これは新幹線建設対策費になると思うのですが、それか観光交流センターの管理費のほうになるかな。あそこのところで、たまたま観光交流センターのほうでイベントがあるのですよね。そのときにはテントを張るのですが、それというのは、その都度、その都度、どこかの業者に委託しているのですか。その辺を教えてもらえれば、わかりますか。

○議長（白石 洋君） 商工観光課長。

○商工観光課長（瀬川勇一君） お答えいたします。

イベント時の弁当についてですが、物産協会のほうへお願いして、その時期、時期において、春のイベント等においてお願いして、各業者のほうへ出店した際に出品していただいております。あくまでも物産協会、道の駅を主体としたイベントのみとしております。

それ以外に、2階のお土産売り場ですが、それについても馬肉弁当という形で物産協会のほうへお願いして、利用者の要望にこたえられるような形にしております。

以上です。

○議長（白石 洋君） テントのあれでしょう。弁当ではなくて、テントです。

暫時休憩します。

休憩 午前10時23分

再開 午前10時25分

○議長（白石 洋君） 休憩を取り消し、会議を開きます。

商工観光課長。

○商工観光課長（瀬川勇一君） お答えいたします。

イベントとかそういうふうな形の際のテントの設営ですね。あれについては、JR側ともいろいろ協議しまして、風が強いために、安全策というような形で、テント設営に対しては委託して、開業時の際のイベント時には、委託料として約500万円ほどをかけてテントを設営、それから電源等を設置してございます。

○議長（白石 洋君） 9番。

○9番（三上正二君） 多分そうだと思うのですよ。というのは、500万円といえば、ここで町長、まだ聞きたいのですけれども、例えば風が強い、確かにそのとおりなのです。だから簡単にはできないと。でも、もし仮にあそこに、どうせこれからだっているいろいろな形のほうでイベントとかそういうものをやる機会があると思うのです。そのときには、初めからそういう、テントを建てるのだという形の、土中に管というのか、そういう形で、風に耐えられるような形を設置したほうが、1件やるたびに500万円するのがただになると、そういうことは考えられないのでしょうかということです。

○議長（白石 洋君） 町長。

○町長（小又 勉君） 開業時はかなり大きいイベントということで、テントもかなり出ました。これからを見通ししてみても、確かに、風対策で相当余分に費用がかかると思いますので、いわゆる固定的に、そういうふうに穴みたいなものを作って見た、その辺を試算してみても、それに費用がかからないような方向で検討していきたいと思います。

○議長（白石 洋君） よろしいですか。

ほかにありませんか。

10番。

○10番（松本祐一君） 18ページの商店街活性化推進費についてお尋ねします。

きのう、瀬川議員の質問に、町長、本当にありがたい言葉が出てきました。10年間で5,000万円……（「10年間で5,000万円でない」と呼ぶ者あり）言っていなかったですか。（「1年で5,000万円」と呼ぶ者あり）だから、10年やったら5,000万円でしょう。（「5億円」と呼ぶ者あり）5億だったか。1年で5,000万円と言いましたか。

○議長（白石 洋君） どうぞ私語は慎んでください。

○10番（松本祐一君） いや、レベルがアップしました。

そういうわけで、本当にありがたい話を聞いたなというふうに思っております。私自身も、七戸の小原商工会長、盛田商工会長のもと、約30年間役員をやって、商店街、商工会のまちづくりのことを携わってきたのですけれども、提案しても、失礼ですけれども前の町長はほとんど却下でした。本当にいろいろな意味において、提案はするのですけれど

も、みんな頓挫になってしまいました。

だから、今度は、きのうの瀬川議員の質問に答える形で、民間が基本計画を考えるべきなのか、行政が考えるべきなのか、本当に私自身悩んでおります。だから、今回は町長が本部長になって、若い疾風組の人とか若駒商人隊の人たちと一緒にあって、私は計画を練るべきだと。今まで民間の人ばかりやって、行政に上げると、みんなけられてだめ。今度はだから、行政のトップの町長が本部長になって、本当のまちづくりを考えていただければなど。私は今、それを30年間やった結果、そのように考えるようになりました。町長はどのようにお考えでしょうか。

○議長（白石 洋君） 町長。

○町長（小又 勉君） きのう、瀬川議員のまちづくりにかける強い思いというのをこちらでも感じまして、年5,000万円掛ける10年の5億円、金額そのものは別として、それぐらいの意気込みで、これはやらなければならないと。いいと思いますよ。もちろん、町の皆さん方、そういう意欲を持って、特に若い方、今、結構相談にも来ます。一緒にやりたいとは思っております。でも、総意ではない。では、やろうかというような内容がまとまれば、やっぱり、新幹線も開業しましたし、あとは、だから農業とまちづくりだというふうに思っています。

おっしゃるとおり、町自体は、いかにどういう商売をやるのかということのはなかなかこれは、ちょっと違うのですけれども、一緒になって考えながら、それぞれの立場からのいろいろな相談をして、具体的なものをまとめて進めていきたいと。何かやらないと、いろいろ考えるのはずっと、もう何十年も考えてきたと思いますから、この辺で前向きに進んでいきたいと。

ただ、あくまでも、もう最初から5,000万円だよと、掛ける10年だよと、これは、無条件投入というのは、これはないにしても、それぐらいの意気込みで頑張らましようというので、これも申し上げておきます。

○議長（白石 洋君） 10番。

○10番（松本祐一君） 本当にありがたい話を聞きました。

何も町長を褒めるわけではないのですけれども、町長、本当に、イベントがあるごとに、かぶとだとかひな祭りとかと、1人で見て歩いているのですよね。だから、その点は私、高く評価したいと思っています。

どうか本当に若い人たちで、私たちの年代はもうだめなのです、新しいのが発想できないで。（「一緒にするのではないよ」と呼ぶ者あり）だから、でき得れば若い人たちの意見を取り入れて、私はやってほしいなど。いや、それは私の意見ですから、皆さんの意見もあるでしょうから、私は若い人たちの斬新な意見を取り入れて、町長を本部長としてやっていただきたい、このように要望して終わります。

○議長（白石 洋君） 13番。

○13番（田島政義君） 今の商工会活性化のところに関連しながら、きのうの町長の答

弁を聞いていると、今、10番議員が言うように、町長は大した意欲があるということなのですが、私、ただ、余り簡単にそういうようにやりたいとかではなくてですね、七戸が、では商工会が、10番議員が30年と、私もそのくらいかかっています。そのほかに、前の谷村さん、亡くなった方が社教課長のときに、このときにもTBSの方が、もう、上り調子で七戸が、最高のところに提案書を出して、TBSの小倉トリピット企画という会社で全部くれたのです、企画書。その中に今の言ったような形、銀行は、両替所とか、表面だけでもいいからやりましょうよと。もう20年前の話です。それでも、さあといったときに、町がやろうといっても、行政と当時の商工会の意見が合わなかったのか、それで、それをやめて、カットバックとかシェットバックというところで、秋田の鹿角にも行ってきたし、その後、今の農商工連ではなくても、農業と商工会は、前の9番議員と一緒に、我々が若いころに、農業と商業と一緒にになりましょうということで、今は仲が悪くはないのですが、前は大した仲がよかったのです。

そういうことで、行ったときに、角館で商店街に軽トラックで野菜売りをやっていた。それも話をしました。だけれども、そのころは、やっぱり商店の方々が、それはやっぱり古い感覚があるので、我々もよそから来た者はやっぱり取り組みが早いのですが、なかなか先輩の方々がゴーサインをくれなかったというのもあるので、確かに旧七戸のそういう事情もあるので、書類を見ながら、では本当に今、くしのように歯がぼろぼろになった商店街を、では本当に、今の若い世代が、先ほど町長が言ったみたいな形の中で、本当にではやろうという気持ちで全体がまとまるのかどうか。私、イベントをやっている、太鼓はたたくけれども片づけまでというのはなかなかないのです。だから、そういうものを見ていると、本当にやる気があるのかないのか。

だから私は、やっぱりいろいろな行事をやってきていても、そういう意味では、やはり、町がやろうとしたら我々商人も、上辺ではなくて、やっぱりやるためにも、やっぱり先ほど10番議員が言ったように、本格的にやるのであれば委員会を設置して、きちんとした形の中で、やはり旧天間、旧七戸も一緒に上がって、では、何を七戸側でやるのか、何を天間側でやるのかというのも、やっぱり見直しはぜひ必要だと思っています、いろいろなイベントに行っても。だから、そういうものはやっぱりきちんとした形の中で委員会を立ち上げていただきたいというのは要望をしておきます。

町長は意外と、はい、わかった、するというと、みんな玉虫色のゴーサインをもらったと思って、でも、よかったです。500万円と5,000万円と間違ったからよかったですけれども。そういうことで要望しておきますので、よろしくどうぞ。

○議長（白石 洋君） ほかにありませんか。

3番。

○3番（附田俊仁君） 科目的に農林課になるのでしょうか。

○議長（白石 洋君） 何ページですか。

○3番（附田俊仁君） 17ページになるのですが、七彩館、あと七戸物産協会の関係な

のですけれども、七彩館の運用、あそこは農家の農産物の販売所になっていて、組織立てとして物産協会の1部門ということにまずなって、全体が協会の傘下に入っているということなのですが、どうしても動き方が本当ではないと、農家の方々の意見。あと、利用者の方々からのお話として、どうしても買いづらかったり、もうちょっと工夫が必要なのではないかという声も聞かれています。

そこで、町長にそういう考えがあるかどうかの確認なのですが、将来的な展望として、例えば農業団体を独立させて、七彩館の管理を分離するという形を考えているものかどうか、あと、もしくは、あそこの道の駅を生かすためには上十三だけではなくて下北まで考えなければいけないというのは、これはもう周知の事実なものですから、広く経営のノウハウのある方々を募集をかけて、例えばもっと広い地域に声をかけられる体制を、私はとったほうが良いと思うのですが、その辺、経営のあり方、組織のあり方を検討する余地があるのかどうか。その辺ちょっと、町長にお伺いしたいと思うのですけれども。

○議長（白石 洋君） 町長。

○町長（小又 勉君） お答えいたします。

まず、基本的にあそこは、産直施設ということですから、当然これはもう、経営というものもありますけれども、今までずっと、いわゆる産直友の会と。あえて経営全体は七戸物産協会の経営ということになって、ちょっと売り方でいろいろ、意見なり、あるいはまた、実際、会員の農家からの苦情というのは私も聞いておりますけれども、聞けば聞かたびに、協会、いわゆるあそこの担当、道の駅の駅長にいろいろお話ししておりました。ですから、取り立てて今、経営分離というのは考えておりません。

駅が開業して、あそこは農産物を主体に、できればオール青森の物産をそろえたいという、最初から話はしておりました。今、一部海産物もありますし、果物等もありますが、下北の産品も一部あります。それから、下北方面の海産物もあります。まだ、やっぱり足りないというふうに思っています。できれば産地直売というしっかりした旗を立てて、充実しないと今、イオンも開店しますから、その辺は私も危機感を持っていますけれども、分けるというのは、今のところはまだ考えないと。いろいろ問題があつたら、その都度改善してもらおうということで、うまい経営をしていただきたいというふうに思っています。

○議長（白石 洋君） ほかに。

3番。

○3番（附田俊仁君） 実際に七彩館の建物の中の3分の1強のスペースが、ほとんどまず利用されていないような状況、こちら側の休憩室のほうですけれども。あそこは、そもそも物産協会で、団体客の方々に対応するためという目的であの場所をつくっていたはずですが。そういうふうにこの議会の中でも説明を受けていました。ところが、現状は、全然その用途に使われていないというのが現実だと思うのです。それを、要は町からの要望として伝えてあるのかどうか。もし、言っているのにやられていない、もしくは改造が必要なものなのか。要は、あれだけの金をかけて、ああいう遊びスペースを設けておくとい

うことは、非常に町民にとって理解しがたい施設の使い方ということになっていきますので、そこら辺の検討の余地があるのかどうか。最後ひとつ、お願いします。

○議長（白石 洋君） 町長。

○町長（小又 勉君） 4月23日に開店して、1年半もたっていません。あの配置自体は、物産協会からの要望に基づいてつくりました。そもそもあそこは、いわゆる大型バスも呼びたい。その場合、現在のレストラン等では昼食の提供というのは、バスには対応できないということで、そういったものも、あの場所で食事の提供をやりたい。それから、いろいろな多目的な利用と。イベントのときは結構、まず込んでおります。平日はあいているというか、そんなにお客さんが入っていないということで、そういう印象を持たれていると思います。

1年少したって運営してみて、実際やっている物産協会自体がどう感じているのか。確かに、非常に無駄があるような気もしないわけではない。その辺はこれからよく話し合いをしてみて、悪ければまた、一つの変更というのもあり得ると思いますけれども、その辺はよく相談してみたいと思います、とりあえずは。

○議長（白石 洋君） 5番。

○5番（瀬川左一君） 先ほどの松本さん、田島さんの関連のことで、私が一般質問した中でのことなのですけれども、先ほどの中で、非常に今までの思いが、何回も、商工会、いろいろな形の中で要望したけれどもつながらなかったというのを、私も余りよくわかりませんでした。また、田島さんの言葉の中にも、やはり表の顔だけでも、こうしてつくりたいという願いがあったみたいですので、非常に私も、私がしゃべっていることもある程度、前から考えていたことかなと思うのであります。

そこで私も、やっぱりこれは町として、新幹線も来て非常に条件はいい、きのうも話しているのだけれども、その中でも、私たちこれからの町の未来としても、だれかがやらなければならないことだと思しますので、今、小又町政の中で、ぜひともこれをやってほしいというのは私の本当の願いでもありました。

それで、私も岐阜とかいろいろなところに行くと、山のほうに行けば行くほど、城下町を歩いている人、すごい団体客が古い町を検索しているということで、にぎわっているということで、東北のほうでもそういうところもたくさんあるかと思いますが、そういう意味を含めて、そして、そこにはまた、町も非常にいろいろなものの雇用が、今、失業状態の中で、それを含めた中で、私は、ちょっと店も調べてみたら100件近いほどの、結局、七戸町の角から川のたもとまでというと100件ぐらいあるのだけれども、表面だけでも300万円ぐらいかければ3億円ぐらい、その中で、あの中とかいろいろな展示をしたりすると5億円ぐらいはかかるのではないかということで、大体の、自分の勝手な考えの中で質問ただけのものでありますので、ぜひともこれを実現させて、今、衰退している中の一つの全国の見本にもなってもらいたいし、一つには昔の京都の映画村みたいなのところも1回視察したり、さまざまな形の中で日本全国を見て、立派なまちづくりをしてほ

しいなというのでありますので、町長からも一言、私の要望に。

○議長（白石 洋君） 町長。

○町長（小又 勉君） おっしゃることはよく理解できます。ただ、外見をずっと、それだけつくって、継続して無条件に人を呼べるというものではないと思います。外をやっぱりつくって、あとは、また来たいと。わざわざ自分のお金を使ってまでも行ってみようかというふうな中身をいかにつくるか。それが伴わないと、ただただ無駄な投資ということにもなりますので、そういった例は全国にかなりあると思います。そのいい例、悪い例をやっぱりよく見ながら、本当に中身の伴った、持続していけるようなまちづくりというのを、そう簡単にはできないと思いますが、いろいろ検討しながら進めていきたいと思ひます。

○議長（白石 洋君） 9番。

○9番（三上正二君） 二つほど。

一つは今の関係の話です。

観光交流センターの中で、エスカレーターをおりてくると、小さなこれくらいの、たしか成田清さんがつくったものなのですけれども、あれはどういう思いでつくったのですか。あれは昔の七戸の町並みを収縮して、天間の二ツ森貝塚もありますけれども、そういう形があるのですよね。でも、あそこへ展示するということは、ミニチュア版けれども、この町には、昔は、ここはこういうことだったという意味合いだと思うのですよ。

今、瀬川議員も言いましたけれども、これは合併する前だったと思うのですけれども、私もこの件で一般質問したことがあったのです。そのときにはちょうど、大体七戸の、柏葉公園七戸城址で、そこから町なかのほうへ来て、半径300メートルか何ぼで大体、中世の形のものがおさまるのです。面こかぶせたらどうだいという形の話をしたときには、そういうふうに結果的にはならなかったのです。でも、それはそのときの時代の流れでしようがないとしても、もし今それをやれば、それは考えるべきだと思います。今、どういふ思いであそこにミニチュアを置いたのかはお答えしてもらいたい。

それから、もう一つ、道の駅なのですけれども、道の駅の形というのは、例えば、ある品物をあそこに置きました。では、同じものは置けないのですか。なぜかという、たまたま、例えば一つ言うと、何でもいいのだけれども、野菜のほうがいっぱいあってもいいのですけれども、そこの道の駅の土産物ですか、そういうものの中では、いや、ここにはこれを置いたから、もう置けないよという形があったのですけれども、私ならば逆に、同じみたいなものが二つあってこそ競争して切磋琢磨すると思うのですけれども、そうしないと、独占企業みたいなもので、努力しなくてもいいという形で、こういうものを何で置けないのかなという話がありましたので、そういう人の課題は、これは町長ではなくて課長だと思うのだけれども、教えてもらえればと思います。

○議長（白石 洋君） 商工観光課長。

○商工観光課長（瀬川勇一君） 先ほど道の駅の品物と土産品等についての品ぞろえなの

ですが、今後、道の駅のほうの高見駅長のほうとも協議して、いろいろな形のものをそろえるような形、利用者にこたえるような形で協議を進めてまいりたいというふうに考えております。

○議長（白石 洋君） 町長。

○町長（小又 勉君） 二戸の例ですけれども、七戸も同じ南部藩ということですから、歴史があると。しからば、どういう歴史か、だれがいたのかと。やっぱりある程度具体的なものがあって初めて観光客にも認められるということになると思います。

あそこに置いたのは、具体的に名前がついたり、こういう人たちがかつていたよという、私も、七戸の歴史という一つのキーワードでお願いをした経緯があります。具体的にどれ、どれを置けというものではありませんけれども、それが、殿様がいたり、姫塚にちなむそういった人物が出てきたりということで、そういうねらいで恐らく置いたと思いますので。

私が今、それを具体的に言っても、ちょっと私もそこまではお話ししておりませんでしたので。売り込むといたら、やっぱり具体性がないと、あったほうが非常に売り込みやすいというふうに思います。

○議長（白石 洋君） 9番。

○9番（三上正二君） 多分そういう形の思いであそこに置いたのだろうなと思います。となれば、具体的な提案、前にもあれば、いつかの機会だったのですけれども、七戸の古絵図、図面がありましたでしょう、1回見せたことがあると思いますけれども。それもやっぱりそういう形のたぐいのものだと思うのです。だから、今、町をそういう、セットバックはならないにしても、瀬川議員が一般質問で話をした絡み、それから田島議員も話した絡み。やっぱり町でもそういう、ミニチュアを置いている、それから、そういう一連の流れの中でやるべきだと思うのです。その辺は検討してください。もしできれば古絵図の形は、どういうふうな具体的な話になっているか教えてもらえれば。

それから、商工観光課長、私が聞きたいのは、今それがどういうふうな状態で、一つのものには一つしか置けないのですかと、それとも二つ置けるのですかと、それを聞いているのですよ。そうしたら、ここにはもうこれがありますから、もう置けませんという話で、そういう話がありましたものですから聞いているのですよ。それはどういうふうな形でルールになっているのですかということです。

○議長（白石 洋君） 生涯学習課長。

○生涯学習課長（渡部喜代志君） お答えします。

現在のところ、業者さんのほうから見積もりをとりまして、それと、飾る場所も当然、物すごい大きい絵図になるものですから、それと、この6月に文化財審議委員会という会議が月末に開かれる予定ですが、その中で、盛田先生が持っている古絵図を、文化的な価値といいますか、そういうようなことの、あるかないかという大変失礼なあれになりますけれども、審議していただいて、当然もう、町として大切にしていかなければな

らないというようなことになれば、9月の補正で予算を計上させていただいて、設置する場所等も私どもの中で検討して、お示ししたいと、このように考えております。

○議長（白石 洋君） 次に、商工観光課長。

○商工観光課長（瀬川勇一君） お答えします。

それらの品物の扱いなのですが、品目等を今後調査して、いろいろな形で利用者等にこたえたいというふうに考えたいと思います。例えば駒まんじゅうとか、いろいろなものがあるかと思えますけれども、それらも含めた上で、調査した上で、物産協会のほうへ要請していきたいと。そういうふうな形によろしいでしょうか。

○議長（白石 洋君） ほかにありませんか。

○9番（三上正二君） これで終わりですね。答弁がちょっと食い違っているから。

○議長（白石 洋君） それは後で修正をしていただくことにして、ほかにありませんか。

10番。

○10番（松本祐一君） 20ページの消防費に関連して、消防本部のことについてお尋ねしたい。

私、去年まで中部に、上北の議会のほうに派遣されていた者として、町長、管理者に質問したことがあったかと思いますが、消防本部、今、総務省の指針で、三沢本部、十和田広域、北部上北、中部上北と四つあるわけですが、消防署の本部が。これを総務省が一つにしようという指針を出しているはずであります。

この上十三地域を見れば、三沢の米軍基地があります。そして今の、六ヶ所の原発の、隔年サイクルなのですが、福島で放射能漏れがあったということで大変な事態が起きています。そういう中において、私は、上十三地域が四つあってもいいのではないかと。はっきり言えば、きのうも町議員が言ったとおり、津軽海峡でぽんと来る、そういう事態もありますし、アメリカの米軍基地もありますし。そういうわけで、副管理者でありますけれども、また中部に派遣されている議員さんもこのことを考えて、私は、効率ばかり求めるのではなくて、やっぱりそういう非常事態の場合、やっぱり消防本部は四つあったほうが、この上十三地域は特殊な地域だということを認識して、でき得ればそのまま残してほしいというのが私の考えです。よろしくお願いします。その点について、答えられる範囲内で。副管理者として答えられれば幸いです。

○議長（白石 洋君） 町長。

○町長（小又 勉君） 今、その辺も含めて協議中であります。要は統合して、特殊な消防本部を抱えていますので。町としての、あるいはまた我が中部の消防力が落ちれば何ならない。どうも今のところ、負担はちょっと、上がるような試算が出ておまして、その辺もよくにらんでみると。

ただ、いろいろな、無線だとか電波の関係の法律が変わったり、統合しなければ、どうも対応し切れないような部分もあります。ですから、その辺はもう少し慎重に、内容を精

査して、これも、だんだん煮詰まってくればまた、皆さんに御相談申し上げたいというふうに思います。

○議長（白石 洋君） ほかにありませんか。

7番。

○7番（田嶋弘一君） 18ページのところ。またもとに戻るのですけれども、観光のところについてお伺いします。

これも例年どおりの形で進んで、今、いろいろな話がありましたけれども、そろそろ例年どおりではなくて、駅もできたので、頭を変えていただきたいなというふうに思っています。

ここにいっぱいあって、皆さんから質問があるのですけれども、町民憲章の中に、ちょっと読ませていただきますけれども、「先人のたゆまぬ努力によって築かれ守られてきた」ということでうたっているのですけれども、この間の一般質問で鉱山の話を行いました。そういうことで、また、裏にも思いやりという言葉が我が役場としては憲章に上げています。できればそういう新しい物の考え方を、考えを変えて、鉱山の話もしたのですけれども、これが何で鉱山の話をするかということ、先ほど議長に言って、これは別な問題だから答弁していないことを書いてくださいということでしたのですけれども、やっぱり、今、町民課長にも指摘したのですけれども、やっぱり我が町の思いやりということをもう一度見直していただきたいなということで、ふるさとを思うということで、できればこのイベントを少々組みかえして、金がなかったらこれを削るなり、また、今言ったふるさとを思うということで、招待するのであれば、何かを削って何かをやらなければできないと私は思うのです。

町民憲章のとおり、もう少し、住民に対してとか先人に対しての思いやりが私はちょっと欠けているというように感じております。その辺を町長として、また、今、駅に、意見書箱といったら別な箱だと言われたのですけれども、その箱の中にいろいろな投書が入っていると思います。それは町長、毎度、1カ月分でチェックして、自分はどういうふうにしたらいいかなという考え方をお持ちなのですか。お伺いいたします。

○議長（白石 洋君） 町長。

○町長（小又 勉君） まず、上北鉱山ですけれども、かつてはあそこに、ピーク時は2,000人ぐらい住んでいたということで、今でも当時あそこで暮らしていた、過ごした人が全国どこかにいるということらしいのです。年に何人かは、懐かしいということで、独自にあそこに行ってみるといふ人もいます。

ですから、どの程度探せるのか、連絡がつくのか、まずこの辺からスタートしてみたいというふうに思います。相当な人数になってくれば、次の段階をまた考えてみたいというふうに思います。

それから、いわゆる意見箱、報告は受けております。ただ、毎月チェックしているかといえば、それは別として、その都度、特に重要なものについてはいろいろ、報告をしても

らうことにしておりますが、これからも常にその辺はやっぱり、真摯に、状況を把握しながら進めていきたいと思えます。

○議長（白石 洋君） ほかにありませんか。

3番。

○3番（附田俊仁君） 18ページの観光費の中の七戸町観光協会補助金に関連してなのですけれども、商工会の七戸町商工会と天間林商工会、依然としてまだ残っていて、その中で、前期と申しますか、過去4年間、議長がよく質問されておりました、統合に向けて、町の姿勢、後押しの方、さまざま話があったわけなのですけれども、その進捗状況をちょっとお知らせいただきたいのですが、その後、何かコンタクトはありますでしょうか。

○議長（白石 洋君） 町長。

○町長（小又 勉君） これはもう、努力するという答弁しかありません。いろいろな問題というのはあるみたいですね。そう聞いています。改めてもう1回聞いてみて、何とか、残っているのはそれぐらいですから、頑張っていきたいと思えます。

○議長（白石 洋君） ほかにありませんか。

暫時休憩をします。10分間。

休憩 午前11時00分

再開 午前11時10分

○議長（白石 洋君） 休憩を取り消し、会議を開きます。

ありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○議長（白石 洋君） それでは、次に、20ページ、10款1項2目事務局費から25ページ、13款2項13目下水道事業債償還金費まで発言を許します。

5番。

○5番（瀬川左一君） 21ページの10款の幼稚園費の中で、解体工事についての、解体した後、何か幼稚園の跡地を考えているのかお聞きさせていただきます。

○議長（白石 洋君） 学務課長。

○学務課長（附田繁志君） お答えいたします。

幼稚園園舎を取り壊した後は、現状に復さなければならないというふうな文化庁の指示がございますので、そのようにいたします。

以上です。

○議長（白石 洋君） 5番。

○5番（瀬川左一君） あそこは非常に歴史のあるところですので、歴史的なものに使用していただければと思いますので、その辺をよろしくお願ひしたいと思えます。

○議長（白石 洋君） 4番。

○4番（佐々木寿夫君） 今の問題に関連してですが、要するに幼稚園の跡地は、町のい

わゆる史跡の保存計画か何かで、あれは利用等を考えていないのですか。

○議長（白石 洋君） 生涯学習課長。

○生涯学習課長（渡部喜代志君） 今のところ具体的に、何々に利用するというようなことは、教育委員会としては考えておりません。ただ、七戸城跡の全体の整備計画の中の区域に入っておりますので、撤去した後の活用のあり方等々は検討していかなければならないとは思っていますけれども、先ほど学務課長のほうで回答したとおり、現状に復するというのが基本ですので、更地というようなことになろうかと今のところは考えております。

○議長（白石 洋君） 4番。

○4番（佐々木寿夫君） 七戸町では、昭和59年に文化財保存計画というのをつくっているはずなのですが、この文化財保存計画に今のあそこの幼稚園は入ると思うのですが、それはいかがですか。

○議長（白石 洋君） 生涯学習課長。

○生涯学習課長（渡部喜代志君） 入るというのは、地域としてということでしょうか。

○4番（佐々木寿夫君） はい。

○生涯学習課長（渡部喜代志君） 入ります。

○議長（白石 洋君） 4番。

○4番（佐々木寿夫君） 最後です。私は、七戸町のあの城跡は、やっぱり町のシンボルとして非常に大切な場所にもあるし、大切な位置を占めていると思うのです。まちづくりの一つのコンセプトの柱にもなるというふうに考えています。そういう意味で、今、幼稚園がなくなった後については、きちんと文化庁等とも打ち合わせをして、きちんとあそこを、要するに発掘するなり、さまざまな調査をして、そして、今後、城跡の整備については、角館とかさまざまなあれを考えているわけですが、それらの中にきちんと位置づけて、あの場所はやるべきだというふうに考えています。だから、単に更地ということではなくて、文化庁ときちんと話し合っ、あそこの発掘などはやらなければならないと、こういうふうに思っていますが、いかがでしょうか。

○議長（白石 洋君） 生涯学習課長。

○生涯学習課長（渡部喜代志君） 当然、あそこは、先ほども申し上げましたけれども、範囲の中に入っている地域でございますので、今のところは更地ということですがけれども、将来的には、やはりあそこはまだ遺溝の状況を確認したことがないという地域になっております。したがって、町の予算等々もにらみながら、予算をつけていただけるようなことになれば、当然、発掘調査ということにならなければならないというふうに考えておりますし、その結果、遺溝があるというようなことになれば、さらなる発掘調査の継続ということになろうかと思えます。仮に遺溝がないというようなことになりましたら、そのことを踏まえた活用方法等も検討していかなければならないというふうに考えております。

以上です。

○議長（白石 洋君） 7番。

○7番（田嶋弘一君） 今の角館のところについて質問させていただきます。

前回、一般質問で水の話は私しました。もし断水でできなかつたらどうしたらいいかなという形で、一番困るのは町内と思って、あの辺をちょっと探索させていただきました。そうしたら、そこに奥方の水というのがありました。間違いではなかったと思うのだけれども、そこには飲めませんと書いてありました。また、本当に飲めないか、これから調べていただければいいと思うのですけれども、その横に、あそこは何と言うか、裏から入って、ちょっと上がっていったら、今度は中学校通に抜ける道路があるのですけれども、そこに出たのですけれども、そのときにふと右を見たら、家が壊れたみたいなの、何と、角館の地域が入っているかどうかわからないけれども、ちょうど奥方の水の二、三メートル過ぎて……（発言する者あり）奥方というか、まあ、いい。そこに建物があるのですけれども、もし観光としてみれば、あの壊れた建物を、私はいかななものかなというふうに思っているのですけれども、あれは、どちらのものかちょっと把握できないのですけれども、私が今しゃべっているところ、わかりますか。

○議長（白石 洋君） 生涯学習課長。

○生涯学習課長（渡部喜代志君） ちょっと今のところ、わかりませんけれども。

○議長（白石 洋君） 7番。

○7番（田嶋弘一君） 奥方の水と、あるところはわかりませんか。

○議長（白石 洋君） 暫時休憩いたします。

休憩 午前11時16分

再開 午前11時18分

○議長（白石 洋君） 休憩を取り消し、会議を開きます。

ほかにありませんか。

9番。

○9番（三上正二君） 二つほど。

21ページ、教育費、10款の。いいのだよね。

○議長（白石 洋君） はい、いいです。

○9番（三上正二君） 多分これは、七戸中学校白鳳館改修工事となっているのですけれども、これは、きょうの予算がとれればだけれども、完成予定と、それから中身をちょっと教えてもらえれば。どういう形なのか。これはいつごろに完成する予定なのか、それから、中身はどういう形になっているのかが一つ。

それから、次の22ページ、これは中央公民館、南公民館にもなるのでしょうかけれども、前にも私、話したけれども、きのうの町長の答弁の中で、行政にできる部分、それから地元の人たちがやっぱりやらなければならないというのが岡村議員の答弁にありましたけれども、まさしくそのとおりだと思うのですけれども、ところで、分館の形のあり方、

前にもこれは話したけれども、補助金のあり方という意味で、例えば100人いるところもあるし200人いるところもある、30人しかいないところもある。それから、事業も、10やっているところ、二つしかやっていないところもある。そういう形の中というのは、10書いていても五つしかやっていない、その辺検討するということになっていまして、その辺の進行状況をちょっと教えてもらえればと思います。わかりますか。

○議長（白石 洋君） 先に学務課長。

○学務課長（附田繁志君） お答えいたします。

まず、工事の中身ということでございますけれども、今の建物の屋根をそのままかぶせると。それから、外壁についてもかぶせると、こういう内容でございます。（「トイレは」と呼ぶ者あり）今現在もございませんけれども、それ等につきましては、今後、設計の段階で考慮したいと思っていました。

それから、完成時期でございますけれども、今後、議決していただいた上で入札日程等を見ながら、できるだけ早い段階に着手したいと。今のところは全く、そういう段階です。

以上です。

○議長（白石 洋君） 次に、中央公民館長。

○中央公民館長（ニツ森政人君） それでは、三上議員の質問にお答えさせていただきます。

確かに、実際はありましたけれども、一応事業等も見直しして、ある程度統一した形で事業をやらせておりますし、それはやり方はさまざまありますけれども、人数の多い少ないは多少ありますけれども、今、事業に対しては一応統一させてやらせております。

○議長（白石 洋君） 9番。

○9番（三上正二君） まず、公民課長です。

多分、なかなかこれは、そのとおりにやるというのは難しいと。それは事情はとともわかる。ただ、私、こういう、悪いという意味ではなくていいという意味で、せっかくコミュニティー活動が、特にいろいろな形の、地域のやっぱりどこでもひとり暮らしとかそういう年老いた人たちもあるから、そういうためにはやっぱり、この自治活動というのでしょうか、この地域の活動というのは必要だから、それはいいと思うのです。ただ、そのときに、余りにも、極端に言うと、附田は200前後だったかな。（「250」と呼ぶ者あり）250ぐらいあるところもあれば、また少ないところもあるのですよ。だから、そういう意味からいったら逆に、少ないところを減らすという意味ではなくて、やっぱり多ければ多いなり、その掛ける人数割とはいかないでしょうけれども、そういう形でやっぱり、それを盛り上げてやるべきだと思うし、また、七戸地区についても、別に建物が欲しいというのではなくて、この町なかに、部落のほうについてもありますけれども、町なかでもやっぱりそういうものを考えて、やっぱりいいものは進めていったほうがいいと思うのですよ。そういう、これは検討してもらいたいと。

それから、学務課長、大体いつごろとか、9月とか10月とか12月ぐらいの目安ぐらい、ちょっと予定は無理かな。

○議長（白石 洋君） 学務課長。

○学務課長（附田繁志君） まだ、これから設計等の段階を踏まなければなりませんので。

○9番（三上正二君） はい、わかりました。

○議長（白石 洋君） ほかにありませんか。

3番。

○3番（附田俊仁君） 21ページ、10款教育費、学校管理費なのですが、先日、一般質問の中で2番議員の回答の中で、町長のお言葉の中に天間林地区の中学校の統合の話もちらっと出たかと思うのですが、それを、私的には、進めても、もう時期的に問題はないというふうには考えておるのですが、行政主体でそろそろ動く用意がまずあるのかどうかをまず1点。

教育委員長に質問させていただきたいのですが、その必要性と、現在の状況、把握している程度でよろしいので、お知らせください。

○議長（白石 洋君） 町長。

○町長（小又 勉君） 人数的に非常に少なくなっているという事情もわかります。当然、あとは、地元の意識というのを改めて確認してみなければなりません。というのは、いわゆる子供が少なくなっているということで、榎林団地、花松団地、人口対策ということで建てた経緯もあります。ですから、そういった、そう遠い昔ではないと、その辺もありますので、その辺をもう1回、地元の意識というものもやっぱり調べてみないと、そこから改めて方向を定めていきたいというふうに思います。

○議長（白石 洋君） 教育委員長。

○教育委員会委員長（中村公一君） では、3番議員に、現在考えられていることをお答えします。

小学校2校、中学校2校、御存じのように少子化現象だけれども、学校の教育活動が、いわば正常に行われております。しかし、この少子化現象に伴って、教育委員会としても、今後、統合に関することとかいろいろなことを情報を集めながら検討していかなければならない課題だと考えております。

○議長（白石 洋君） ほかにありませんか。

3番。

○3番（附田俊仁君） 要するに、町でどういう子供をつくっていききたいのかというところの究極の趣旨というものがあって当然だと思うのですが、平成19年に教育基本法の抜本的な改正を見て、その中の大きな文言として、生きる力を持った子供たちを育てるというところの大きな柱が出てきております。その柱に照らし合わせたときに、今現在置かれている七戸町、特に天間林地区の子供たちの置かれている社会的な環境というもの

が、要は1校から1校、要は新しい血が交わらないという、そういう状況なのです。それがどういう問題を生むかという、高校に行ってから、町では余り問題にはならないのですが、いわゆる高校デビューといいますか、高校に行ってからちょっと道を外してしまうという、そういう現状が散見されているのです。そういうものを、問題はないほうがいいのですが、問題がなければ解決策もないということで、このような話をしているのかどうかかわからないのですけれども、ある程度新しい血がまじることによって、新しい仲間とルールづくりをするというその環境、もしくは、切磋琢磨をして、学力でもスポーツでも、競い合うという環境を我々大人がつくっていかねばいけないというふうに考えているのです。

それをするためには、どうしても現状の対策では足りない。現状の形では、子供たちの心を鍛えられないという状況なものですから、小学校の統合は、私は必要はないと思うのです。要は複式学級で学校に、先ほど委員長もおっしゃられたとおり、学習もしくは活動に支障を来すまでは統合の必要はないと思うのですが、段階的に子供たちに新しい血を入れていくという、そういう環境づくりは、この町がやらなければいけない問題で、そうするために、今の置かれている状況がどうなのかと照らし合わせたときに、小学校、それから中学校、そこまでは、下手すると保育園から中学校卒業まで同じメンツなのです。それが果たして、生きる力を子供たちに得らせようと思ったときに、いい環境かといえば、決してそうではない。その環境をいかにして早く改善してやるかということをお我々は、PTAの中で、地域の中で、そういう話は非常に議論をしまいいりました、この2年間、3年間。です。もうそろそろ行政が主体となって旗を上げて全然おかしくないような時期に入ってきていると思います。ぜひ調査の段階からしっかりと進めていってほしいと思うのですが、その辺、町長、いかがでしょうか。

○議長（白石 洋君） 町長。

○町長（小又 勉君） 一つの今までの実際の状況ですけれども、生きる力も、榎中だから特別、非行に走ったとか、学力は町内ではいいほうだし、そんなに私、落ちているとは思っていませんが、ただ、今そういう問題が提起されましたので、その辺を踏まえた上で、そういう調査に入りたいと思います。

○議長（白石 洋君） 7番。

○7番（田嶋弘一君） 今の続きですけれども、今の1歳児、2歳児、下通りのほうは何名いるか、ちょっと教えていただけませんか。

○議長（白石 洋君） 学務課長。

○学務課長（附田繁志君） 今、手元に具体的な資料を持参していません。後で御連絡したいと思います。

○議長（白石 洋君） 暫時休憩をいたします。

休憩 午前11時31分

再開 午前11時33分

○議長（白石 洋君） 休憩を取り消し、会議を開きます。

ほかにありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○議長（白石 洋君） 次に、歳入歳出全般にわたり発言を許します。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○議長（白石 洋君） 質疑がありませんので、これをもって質疑を終結します。

これより、討論を行います。

討論はありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○議長（白石 洋君） 討論がありませんので、これをもって討論を終結します。

これより、本案について採決します。

本案は、原案のとおり決することに御異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

○議長（白石 洋君） 御異議なしと認めます。

したがいまして、議案第34号、平成23年度青森県上北郡七戸町一般会計補正予算（第2号）は、原案のとおり可決されました。

○日程第7 議案第35号

○議長（白石 洋君） 日程第7 議案第35号、平成23年度七戸町国民健康保険特別会計補正予算（第1号）を議題といたします。

これより、質疑に入ります。

質疑は、事項別明細書により、歳入歳出全般にわたり発言を許します。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○議長（白石 洋君） 質疑がありませんので、これをもって質疑を終結します。

これより、討論を行います。

討論はありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○議長（白石 洋君） 討論がありませんので、これをもって討論を終結します。

これより、本案について採決します。

本案は、原案のとおり決することに御異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

○議長（白石 洋君） 御異議なしと認めます。

したがいまして、議案第35号、平成23年度七戸町国民健康保険特別会計補正予算（第1号）は、原案のとおり可決されました。

○日程第8 議案第36号

○議長（白石 洋君） 日程第8 議案第36号、平成23年度七戸町後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）を議題といたします。

これより、質疑に入ります。

質疑は、事項別明細書により行います。

歳入歳出全般にわたり発言を許します。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○議長（白石 洋君） 質疑がありませんので、これをもって質疑を終結いたします。

これより、討論を行います。

討論はありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○議長（白石 洋君） 討論がありませんので、これをもって討論を終結します。

これより、本案について採決します。

本案は、原案のとおり決することに御異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

○議長（白石 洋君） 御異議なしと認めます。

したがって、議案第36号、平成23年度七戸町後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）は、原案のとおり可決されました。

○日程第9 議案第37号

○議長（白石 洋君） 日程第9 議案第37号、平成23年度七戸町介護保険特別会計補正予算（第1号）を議題といたします。

これより、質疑に入ります。

質疑は、事項別明細書により行います。

歳入歳出全般にわたり発言を許します。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○議長（白石 洋君） 質疑がありませんので、これをもって質疑を終結します。

これより、討論を行います。

討論はありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○議長（白石 洋君） 討論がありませんので、これをもって討論を終結します。

これより、本案について採決いたします。

本案は、原案のとおり決することに御異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

○議長（白石 洋君） 御異議なしと認めます。

したがって、議案第37号、平成23年度七戸町介護保険特別会計補正予算（第1号）は、原案のとおり可決されました。

○日程第10 議案第38号

○議長（白石 洋君） 日程第10 議案第38号、平成23年度七戸町介護サービス事業特別会計補正予算（第1号）を議題といたします。

これより、質疑に入ります。

質疑は、事項別明細書により行います。

歳入歳出全般にわたり発言を許します。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○議長（白石 洋君） 質疑がありませんので、これをもって質疑を終結いたします。

これより、討論を行います。

討論はありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○議長（白石 洋君） 討論がありませんので、これをもって討論を終結いたします。

これより、本案について採決いたします。

本案は、原案のとおり決することに御異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

○議長（白石 洋君） 御異議なしと認めます。

したがって、議案第38号、平成23年度七戸町介護サービス事業特別会計補正予算（第1号）は、原案のとおり可決されました。

○日程第11 議案第39号

○議長（白石 洋君） 日程第11 議案第39号、平成23年度七戸町公共下水道事業特別会計補正予算（第1号）を議題といたします。

これより、質疑に入ります。

質疑は、事項別明細書により行います。

歳入歳出全般にわたり発言を許します。

ありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○議長（白石 洋君） 質疑がありませんので、これをもって質疑を終結します。

これより、討論を行います。

討論はありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○議長（白石 洋君） 討論がありませんので、これをもって討論を終結します。

これより、本案について採決します。

本案は、原案のとおり決することに御異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

○議長（白石 洋君） 御異議なしと認めます。

したがいまして、議案第39号、平成23年度七戸町公共下水道事業特別会計補正予算（第1号）は、原案のとおり可決されました。

○日程第12 議案第40号

○議長（白石 洋君） 日程第12 議案第40号、平成23年度七戸町農業集落排水事業特別会計補正予算（第1号）を議題といたします。

これより、質疑に入ります。

質疑は、事項別明細書により行います。

歳入歳出全般にわたり発言を許します。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○議長（白石 洋君） 質疑がありませんので、これをもって質疑を終結します。

これより、討論を行います。

討論はありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○議長（白石 洋君） 討論がありませんので、これをもって討論を終結します。

これより、本案について採決します。

本案は、原案のとおり決することに御異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

○議長（白石 洋君） 御異議なしと認めます。

したがいまして、議案第40号、平成23年度七戸町農業集落排水事業特別会計補正予算（第1号）は、原案のとおり可決されました。

○日程第13 議案第41号

○議長（白石 洋君） 日程第13 議案第41号、平成23年度七戸町水道事業会計補正予算（第1号）を議題といたします。

これより、質疑に入ります。

水道事業会計全般にわたり発言を許します。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○議長（白石 洋君） 質疑がありませんので、これをもって質疑を終結します。

これより、討論を行います。

討論はありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○議長（白石 洋君） 討論がありませんので、これをもって討論を終結します。

これより、本案について採決します。

本案は、原案のとおり決することに御異議ありませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

○議長(白石 洋君) 御異議なしと認めます。

したがいまして、議案第41号、平成23年度七戸町水道事業会計補正予算(第1号)は、原案のとおり可決されました。

○日程第14 諮問第1号

○議長(白石 洋君) 日程第14 諮問第1号、人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについてを議題といたします。

これより、質疑に入ります。

発言を許します。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○議長(白石 洋君) 質疑がありませんので、これをもって質疑を終結します。

これより、討論を行います。

討論はありませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○議長(白石 洋君) 討論がありませんので、これをもって討論を終結します。

これより、本案について採決します。

本案は、原案のとおり答申することに御異議ありませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

○議長(白石 洋君) 御異議なしと認めます。

したがいまして、諮問第1号、人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについては、原案のとおり答申することに決定いたしました。

○日程第15 諮問第2号

○議長(白石 洋君) 日程第15 諮問第2号、人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについてを議題といたします。

これより、質疑に入ります。

発言を許します。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○議長(白石 洋君) 質疑がありませんので、これをもって質疑を終結します。

これより、討論を行います。

討論はありませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○議長(白石 洋君) 討論がありませんので、これをもって討論を終結します。

これより、本案について採決します。

本案は、原案のとおり答申することに御異議ありませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

○議長(白石 洋君) 御異議なしと認めます。

したがいまして、諮問第2号、人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについては、原案のとおり答申することに決定いたしました。

○日程第16 報告第15号

○議長(白石 洋君) 日程第16 報告第15号、平成22年度青森県上北郡七戸町一般会計繰越明許費繰越計算書の報告についてを議題といたします。

これより、質疑に入ります。

発言を許します。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○議長(白石 洋君) 質疑がありませんので、これをもって質疑を終結します。

以上で、報告第15号、平成22年度青森県上北郡七戸町一般会計繰越明許費繰越計算書の報告についてを終わります。

○日程第17 報告第16号

○議長(白石 洋君) 日程第17 報告第16号、平成22年度青森県上北郡七戸町一般会計事故繰越し繰越計算書の報告についてを議題といたします。

これより、質疑に入ります。

発言を許します。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○議長(白石 洋君) 質疑がありませんので、これをもって質疑を終結します。

以上で、報告第16号、平成22年度青森県上北郡七戸町一般会計事故繰越し繰越計算書の報告についてを終わります。

○日程第18 報告第17号

○議長(白石 洋君) 日程第18 報告第17号、平成22年度青森県上北郡七戸町一般会計事故繰越し繰越計算書の報告についてを議題といたします。

これより、質疑に入ります。

発言を許します。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○議長(白石 洋君) 質疑がありませんので、これをもって質疑を終結いたします。

以上で、報告第17号、平成22年度青森県上北郡七戸町一般会計事故繰越し繰越計算書の報告についてを終わります。

○日程第19 報告第18号

○議長（白石 洋君） 日程第19 報告第18号、平成22年度七戸町水道事業会計予算繰越計算書の報告についてを議題といたします。

これより、質疑に入ります。

発言を許します。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○議長（白石 洋君） 質疑がありませんので、これをもって質疑を終結します。

以上で、報告第18号、平成22年度七戸町水道事業会計予算繰越計算書の報告についてを終わります。

○日程第20 議員派遣の件

○議長（白石 洋君） 日程第20 議員派遣の件についてを議題といたします。

お諮りいたします。

議員派遣の件につきましては、お手元に配付のとおり派遣したいと思います。これに御異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

○議長（白石 洋君） 御異議なしと認めます。

したがいまして、議員派遣の件については原案のとおり可決されました。

暫時休憩をいたします。

休憩 午前11時45分

再開 午前11時45分

○議長（白石 洋君） 休憩を取り消し、会議を開きます。

○閉会宣告

○議長（白石 洋君） 以上で、今期定例会に付議された事件はすべて議了しました。

これをもって、平成23年第2回七戸町議会定例会を閉会いたします。

大変御苦労さまでございました。

閉会 午前11時45分

以上の会議録は、事務局長佐野尚の記載したものであるが、内容に相違ないことを証明するため、ここに署名する。

平成23年6月10日

上北郡七戸町議会議長

議員

議員